

ご挨拶

校長 高橋 明



令和6年4月1日付けで、区内西中野小学校から中野区立白桜小学校に異動して参りました、高橋 明 と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

平成21年に開校した中野区立白桜小学校は、今年度で15周年を迎えます。白桜小学校の学区域は、土地の形状が起伏に富み、商店街や多くの寺院のある住宅地です。校章は、通学区域に桜にちなんだ地名や桜の名所があること、統合した中野昭和小学校と東中野小学校の校章に桜が用いられていたことなどから、校名にもある「桜」の花を基調とした図案になっています。

私は、この白桜小学校を「子どもたちの笑顔と『ありがとう』があふれる学校」にしたいと考えています。学校の基本は子どもたちの笑顔だと考えます。安心感がないと笑顔は生まれません。安心して過ごせる学校を作っていきます。また、子どもたちはさまざまな悩みを抱えている場合があります。子どもたち一人ひとりの支援を優しさと厳しさをもって、全校で統一した指導のもとに進めていきたいと考えます。

これからの未来を創るのは子どもたちです。白桜小学校の子どもたち一人ひとりに社会の変化に対応できる力が身に付けられるよう、教書行員一同、力を合わせて教育活動を進めて参ります。

保護者、地域の皆様におかれましては、今後とも白桜小学校への御理解・御協力をお願い申し上げます。

令和6年度 中野区立白桜小学校 学校経営方針			令和6年4月1日
●東京都教育施策大綱 ●中野区基本構想 ●新しい中野をつくる10カ年計画(第3次) ●中野区教育大綱 ●中野区教育ビジョン(第4次)	中野区教育理念 「一人ひとりの可能性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む」		
	指導目標 1 生命を大切に、人権を尊重する 2 生きる力を育む教育の推進	基本方針 1 「知」、「徳」、「体」のバランスのとれた教育 2 自ら考え、学び、行動する人材を育成する教育 3 一人ひとりを大切にする教育 4 幼児期からの連続した教育 5 家庭、地域、学校の連携による教育 6 生涯にわたり自分らしく学ぶ教育	
学校教育目標 人権尊重の精神を基盤とし、国際社会を主体的に生きる心身共にたくましく、広い視野と思いやりをもち、他と協働できる子どもを育てる			
● 自らすすんで考え、判断する子 ● 思いやりをはぐくみ、行動する子 ● 心や体の健康を大切にする子			
目指す学校像 子どもたちの笑顔と「ありがとう」があふれる学校 ○ 地域を輝かす子どもが主役の学校 ○ 自己有価値、自己肯定感を高める学校 ○ 安全で安心な学校 ○ 家庭、地域と密にある学校	目指す児童像 ○ 「ホスピタリティ」の高い子 ・ 相手の思いを尊重し、思いやりや優しさをもって接することができる子。 ・ 思いから豊かな価値を作出することができる子。 思いやりをはぐくみ、行動する子 ○ 「向上心」のある子 ・ もっとできるようになりたいと願い、主体的に自らを高めようとする子。 自らすすんで考え、判断する子 心や体の健康を大切にする子 ○ 心と体の健康に関心をもち、自ら主体的に健康を守る子	目指す教師像 ○ 子どもと共にある教職員 ○ 保護者・地域の思いを受け止める教職員 ○ 自ら学び続ける教職員 ○ 「良い職場がよい学校(教師)を作る」ことを実践する教職員 ○ 教育者としての高い規範意識をもち、期待と信頼に応える教職員	
目指す姿を実現するための具体的方策 子どもたちの笑顔だと考えます。安心感がないと笑顔は生まれません。安心して過ごせる学校をつくっていきます。			
1 基礎・基本の徹底、主体的に学ぶ意欲の向上、対話的で深い学びの実践、論理的思考力の育成 ・ 主体的に学ぶ意欲を高める授業で「向上心」を育てます。 ・ 習熟度に応じた指導により、学力不振の底上げ、学力層の引き上げをして学力を伸ばします。 ・ 交流学習や話し合い活動を通して、主体的・対話的で深い学びがてきる子を育てます。 ・ 「宿題」と「自主学習」で自ら家庭学習ができる子を育てます。 ・ タブレットや電子黒板などのICT機器を有効に活用して分かる授業を行います。 ・ 「中野の100冊」等の活用により、読書活動を充実させます。 ・ 保護の連携、小中連携、小中連携により小学校を中核とした「学びの連続性」を構築します。	2 いじめ、不登校の根絶、多様性の尊重、自己肯定感の醸成、地域貢献できる子の育成 ・ 「中野区子どもの権利に関する条例」について知り、児童一人ひとりをかけがえない存在として、性別、人種の違い等に関する偏見や差別をなくし、人権や自然の生命を尊重する心を育てるとともに、主体的に社会に関与する態度を育てます。 ・ 命の学習やQOSの出し方に関する教育、いじめ防止指導を通して、自分も他人も大切にできる子を育てます。 ・ 「ホスピタリティ」を基盤、人権意識の高いディバーシティースクールを目標とします。 ・ 全教職員でめぐる「いじめ理解」を、一人ひとりに手を繋げる指導を行って学校を通過を防止します。 ・ 集会活動や学校活動により、一人ひとりの力を発揮させ、自己肯定感を醸成します。 ・ 「生活のきまり」を基本として、生活規律や正しい言葉遣いを身に付けさせます。 ・ 地域の一員として、地域に貢献できる子を育てます。	3 運動習慣、運動技能の向上、就寝時間の改善、食への関心・意欲の向上 ・ 家庭と連携して、基本的な生活習慣を身に付けさせます。 ・ 集会等の活動を通して、体力向上の取組を充実させます。また、運動の日常化を図ります。 ・ 「柔軟性」、「俊敏性」、「持久力」を身に付けさせる取組により、体力課題を改善します。 ・ 「食品ロスのない学校」、「食への関心を高める教育」を中心に、食育を推進します。 ・ がん教育などの健康教育を保護者と連携して実施します。 ・ セーフティ教室や交通安全教室、日常的な「一歩指導」を徹底し、事故ゼロを目指して事故を未然防止します。 ・ 緊急性のある避難訓練で、危機回避能力を育成します。 ・ 危機意識をもって、定期的に安全を点検、日常の安全管理を徹底します。 ・ 危機管理マニュアルに基づいて、緊急時において、組織的、迅速・適切に対応します。	